

CTG 建交労群馬県本部ニュース

全日本建設交運一般労働組合群馬県本部
〒371-0023 (略称・建交労群馬県本部)
群馬県前橋市本町3-11-12 TEL:027-223-0007
FAX:027-223-9966 e-mail:ctg-g@nifty.com

建交労第16回全国大会開催 福島県郡山市磐梯熱海温泉

- 日時 2014年8月30日～9月1日
 - 場所 福島県郡山市「ホテル華の湯」
- 群馬県本部からの代議員は次の通りです。
【県本部特別代議員】藤島 研 (測量)
【合同選挙区代議員】久保 晴央 (測量)
【建築支部代議員】金子 和幸 (建築)

群馬県本部第16回定期大会 10月5日(日)9:00～

8月2日の県本部執行委員会において、第16回県本部定期大会の日程等が決められました。

- 日時 2014年10月5日(日)9:00
 - 場所 前橋市総合福祉会館「第2会議室」
- ※各支部の代議員定数は次の通りです。
ダンプ12、トラック6、事業団6、建築5
測量2、学童2、地域合同2

群馬県測量設計業協会幹部と懇談 技術者の育成、収入公務員並みに 道路維持管理の新分野に挑戦



群馬県測量設計業協会役員と懇談する要請団(右)

同協会は県内企業三十八社で構成され、多くの企業は官公庁が発注する仕事への依存度が高くなっていきます。今回の懇談により、労働組合と一致する課題が多いという共通認識に立てたことが成果だったと思えます。「建設関連業は社会基盤整備のうえで大切な業種であることを、みんなでアピールしていくことが必要だ」と思う。嶋田大和副会長の閉会の言葉でした。

群馬生公連は七月三十日、群馬県測量設計業協会を訪ね、富永伸樹会長以下五人の幹部役員と懇談しました。公共事業の今は、道路をつくることからその維持管理に軸を移していくことから、その作業は業界として新規の分野に
群馬県測量設計業協会を訪問、に協会を上げて取り組んでいくようですが、こういう資格で仕事をすることになるのかという点で行き詰っているとの話でした。国は早急に道路維持管理業務に関する指針を出すべきです。

ダンプキャラバン 関東地整要請行動

関東ダンプ協議会の代表メンバーは、七月二十八日埼玉県大宮市で、ダンプキャラバンの最終行動となる関東地方整備局要請に取り組みました。要請は約二時間にわたり行われ、設計労務単価引上げ問題を中心に行われました。

組合側は「単価はほとんど上がっていない。現状を放置すれば、労務単価引上げのほとんどがゼネコンの懐に入ることになる。現場を特定して指導を求めれば対応してくれるのか？」との問いに、当局は「個別的に単価を正を指導するのは難しい」と回答。議論は平行線でした。

国交省関東地方整備局(右)と関東ダンプ協議会の仲間



最低賃金の大幅引上げ・改善を求め 《群馬最賃審議会へ意見書提出》

日本の労働者の賃金は1997年以降低下を続け、2012年には年収で約60万円減少し引き続き低下の歯止めがかかっていません。安倍政権は2013年春闘での労働者の報酬引き上げ要請につづいて、2014年春闘ではベースアップを財界に対して要請しました。しかし中小企業労働者や非正規労働者の多くは賃上げとは無縁で、今年5月の毎月勤労統計調査による「所定内給与」では、物価の変動を考慮した実質賃金は前年比3.6%減と、消費増税で落ち込んだ4月よりさらにマイナス幅が拡大してマイナスは11カ月連続となっています。総務省統計局の調査では2013年平均の雇用者5201万人のうち正規労働者は3294万人(前年比46万人減)、非

正規労働者は1906万人(93万人増)で、労働者全体の約36.7%となっています。同調査によれば年収200万円未満の労働者数は1833万人(正規408万人、非正規1425万人)に達し、調査した2877万人の63.7%を占めています。

日本国憲法第25条に於いて「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と謳われていますが、現在の最低賃金では「健康で文化的な最低限度の生活」を営むことはできません。については、下記事項の実現を貴会に要請するものです。

- 1) 今年度の群馬地方最低賃金審議会において、最低賃金額を1000円以上とすること
- 1) 全国一律最低賃金制度を確立するよう、中央最低賃金審議会に上申すること。

注意！ダンプ建築、労災事故多発 個人・法人労災保険加入できます

建交労群馬県本部では国の認可を受けて労働保険業務（労災保険と雇用保険）を行っています。

法人や個人事業の全ての業種の労働保険はもちろんのこと、本来労災保険適用にならない建設と運送の一人親方労災保険も当組合が事業主となって労災適用となることができます。また未加入の組合員さんへぜひ加入を検討してください。保険料は建設が年間38,675円から114,960円、運送が29,550円から85,760円まで、給付日額による違いがあります。詳しくは組合までお問い合わせください。



最近の労災事故の事例

今年は厳冬、酷暑の影響もあるのか、組合員さんの労災事故が多発しており、心配される状況です。労災保険加入の有無にかかわらず家を出てから帰宅まで、安全衛生には十分注意してください。

■運送会社従業員Aさん 東京から長野まで丸太を運び、荷下ろしのため運転席から降りる際、足元の丸太に気づかず足を乗せてしまい足首をひねって骨折。
■木製品製造会社従業員Bさん 棚板を切る作業終了後シグソーのスイッチ

手を切る際、誤って刃物に触れ負傷。
■学童指導員Cさん 小学生児童を雪合戦で遊ばせていたとき児童の投げた雪玉が当たり左目を負傷。
■ダンパー人親方のDさん 10トンダンプのタイヤ交換中、ホイールとコンクリート敷き地面の間に指を挟んでしまい骨折。
■ダンパー人親方のEさん 10トン

建築支部 住宅リフォーム補助事業（国交省） 活用のための説明会を開催

建築支部は、八月十二日（火）夜七時より、前橋市総合福祉会館「第五会議室」（下地図参照）において、長期優良住宅化リフォーム推進事業の説明会を開催します。

本事業は、インスペクション、性能の向上を図るリフォーム及び適切なメンテナンスによる既存住宅ストックの長寿命化に資する優良な取り組みに対し、国が事業の実施に要する費用の一部について支援することにより、既存住宅ストックの質の向上及び流通促進に向けた市場環境の醸成、及びそれらの取組の普及を図ることを目的としています。

補助率工事費1/3 上限100万円（戸）

交付申請を行えるのは、「平成二六年度 長期優良住宅化リフォーム推進事業」において、事業の提案に応募し、採択を受けている方が対象

ダンプの積載物を降ろしてスコップで荷台の清掃中、ヘッドのこびり付きが予想に反してひどかったため強い力が腰にかかり腰部捻挫。
■ダンパー人親方のFさん 10トンダンプに合材を積み前作業で付着防止材の油を荷台に塗り終え、はしこで降りたとき、縁石に足を乗せたら長靴の底に付いていた油ですべて地面に落ち、左手骨折。
■建築業一人親方のGさん 仕事を終え後片付けで2階から1階に階段で降りる際、足を踏み外し、右手骨折。

となります。当該事業の採択を受けていないと、交付申請はできません。組合では、組合員有志で立ち上げた有限責任事業組合アイズグループで本事業に応募し、約二三百万円分の採択を受けています。

自治体の補助事業と 違い事業内容が複雑

詳しくは説明会でお話しますが、補助対象となる工事は、戸建住宅の場合には、①構造躯体等の劣化対策 ②耐震性 ③省エネルギー対策 ④維持管理・更新の容易性、この四点となります。また、共同住宅の場合には、さらに、⑤高齢者対策 ⑥可変性が加わります。

具体的には、★劣化対策Ⅱユニツトバス設置、★省エネルギー対策Ⅱペアガラス交換と天井や壁、床の断熱工事、高齢者対策Ⅱバリアフリーなどとなっています。

住宅リフォーム補助事業(国交省)活用のための説明会開催

- 日時：8月12日（火）午後7時より
- 場所：前橋市総合福祉会館「第5会議室」
←左地図参照

建築支部組合員はもとより、他支部の組合員で「住宅リフォームを検討している」方なども参加可能です。
建築支部組合員は、補助事業を仕事確保に活用してください。尚、資料準備のため参加希望者は事前に組合まで参加申し込みしてください。



前橋市総合福祉会館の案内図
(〒371-0017 前橋市日吉町二丁目17-10 電話(027)237-0101)